

ホンダスーパーカブ

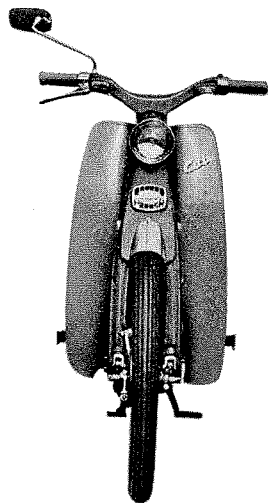
C100 C105 型取扱説明書

目次

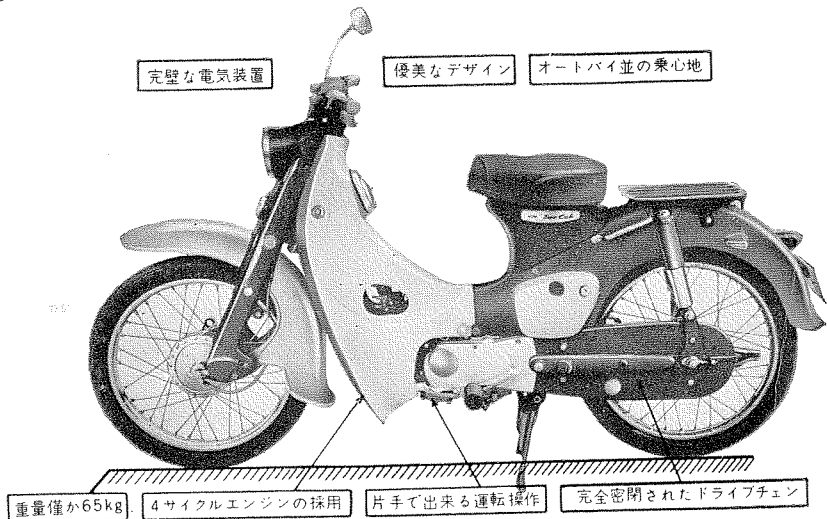


	ご あ い さ つ	1
1.	スーパーカブ号の特徴	4
2.	主 要 諸 元	5
3.	運 転 の 知 識	8
	(1) 始 動 の 要 領	(8)
	(2) 変 速 の 要 領	(10)
	(3) 坂道での運転要領	(12)
	(4) 停車および駐車にあたって	(12)
	(5) 主要部の操作	(13)
4.	点 検 ・ 整 備	16
	(1) 日 常 点 検	(16)
	(2) 定 期 点 検	(17)
	(3) 点火時期の調整	(18)
	(4) バルブ間隙の調整	(19)
	(5) ドライブチェンの調整	(20)
	(6) クラッチの調整	(21)
	(7) 前ブレーキの調整	(22)
	(8) 後ブレーキの調整	(23)
	(9) キャブレターの調整	(24)
	(10) マフラーの清掃要領	(25)
	(11) エアークリーナーの清掃要領	(26)

(12)	スパークプラグの清掃要領	(27)
(13)	グリース注入	(28)
(14)	エンジンオイルの交換要領	(35)
(15)	バッテリー液の点検	(31)
(16)	締付各部の点検	(32)
(17)	フロントホイールの取外し方	(33)
(18)	リヤーホイールの取外し方	(34)
5.	携 帯 工 具	35
6.	取 扱 上 の ご 注 意	36
7.	ガソリン、オイルについて	38
8.	純 正 部 品 について	39
9.	万一故障がおきたら	40
10.	目で見える交通規則	41
11.	浜松製作所とその製品	53
12.	埼玉製作所とその製品	56
13.	鈴鹿製作所とその製品	59
14.	スーパーカブ配線図 型式 C 100・C 105 型	62
15.	事 業 所 所 在 地	64



スーパーカブ号の特徴



主 要 諸 元

▶ エンジン

C 100

冷却方式及サイクル……………空冷 4 サイクル
 シリンダー数及配置……………1, 水平よりの上向角 10°
 内 径 × 行 程……………40×39 mm
 総 排 気 量……………49 c. c.
 圧 縮 比……………1 : 8.5
 最 高 出 力……………4.5 PS (9,500 r. p. m)
 最 大 ト ル ク……………0.33 m·kg (8,500 r. p. m)
 点 火 方 式……………フライホイールマグネトー
 点 火 時 期……………上死点前 35° (固定式)
 点 火 プ ラ グ……………N. G. K 製 C 7 HW
 バ ッ テ リ ー……………6 V, 2 AH (MBC 1-6)
 キ ャ プ レ タ ー……………京浜製 DP 13 HOV
 潤 滑 方 式……………オイルスブラッシュタイプ
 潤 滑 ポ ン プ……………カム歯車による吸上式

C 105

42×39 mm
 54 c. c.
 5.0 PS (9,500 r. p. m)
 0.38 m·kg (8,500 r. p. m)
 京浜製 DP 13 HOV 13

C 100

ク	ラ	ッ	チ		湿式多板自動遠心型
変		速	機		常時咬合式
変	速	段	数		3
変	速	操	作		左足動往復式
変	速	比	第 1		2.69 総減速比 (35.8)
	//		第 2		1.45 // (19.3)
	//		第 3		0.96 // (12.8)
機関より変速機までの機構					ギヤー
同 上 減 速 比					4.66
変速機より後輪までの機構					チェン
同 上 減 速 比					2.86

▶ フ レ ー ム

フ	レ	ー	ム		バックボーン型
懸	架	装	置		ピボット型 (前後共)
制	動	装	置		内拡式 (前後共)
ハ ン ド ル 寸 法					575 mm
か じ 取 角 度					左右各 50°

C 105

C 100

キ ャ ス タ ー	63°
ト レ ー ル	70 mm
タ イ ヤ 寸 法	2.25-17 (前後共)
燃 料 タ ン ク 容 量	3 l

▶車 両

全 長	1780 mm
全 巾	 575 mm
全 高	 945 mm
軸 間 距 離	1180 mm
最 低 地 上 高	 140 mm
最 小 回 転 半 径	1700 mm
車 両 重 量	65 kg
最 高 速 度	70 km/h
燃 料 消 費 量	90 km/l(25 km/h 時)
登 坂 力	14° (sin θ)
制 動 能 力	5 m 以下 (25 km/h 時)

C 105

1795 mm

66 kg

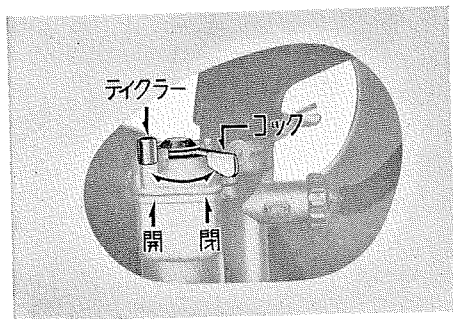
75 km/h

8 m 以下 (35 km/h)

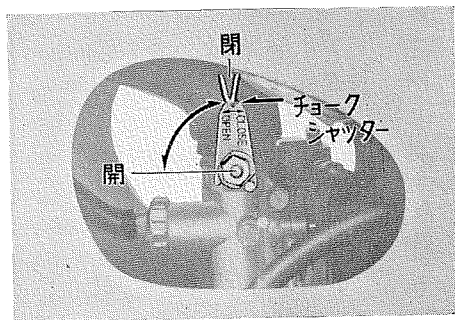
運転の知識

▶ 始動の要領

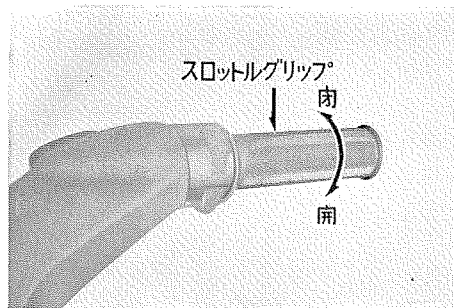
1. ガソリンコックを開きます。
2. チョークシャッターを全閉にします。
3. スロットルグリップを全開にして 1～2 回軽くキックします。



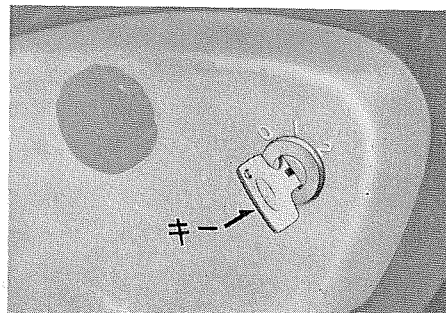
第 1 図



第 2 図



第 3 図



第 4 図

4. スイッチにキーを差し込み (1) に回します。
5. チョークシャッターを $\frac{1}{4}$ 位開きます。
6. スロットルグリップを $\frac{1}{4} \sim \frac{1}{2}$ 位開いて強く、早くキックします。
7. エンジンがかかり暖まったらチョークシャッターを全開にします。

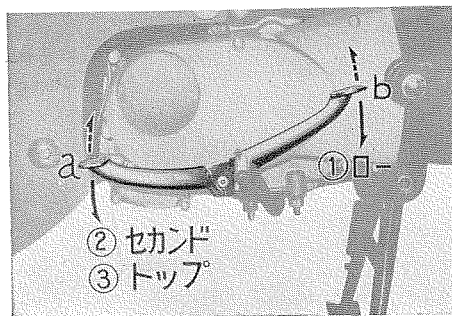
※押かけによる始動も極めて簡単に出来ます。

※エンジンが暖まっているときは、前記の 2・3 は省略し、4・5・6 の操作だけで容易に始動出来ます。

▶ 変速の要領

1. 普通の状態スタートするときはチェンジアームの a 点を 1 回踏み込んでセカンドからスタートします。
2. スロットルグリップを徐々に開きスピードが 20~25 km/h 位になったら更に a 点を 1 回踏み込んでトップに切替えます。

ー注意ー 切替えは、必ずスロットルグリップをいったんもどしてから行なって下さい。



第 5 図

3. トップで走行中のスピード調整は右手のスロットルグリップによって行ないます。
4. 坂道又は荷物を積んでスタートするときはチェンジアームの b 点を踏み込んでローからスタートして下さい。そしてスピードが 15 km/h 位になったら a 点を 2 回踏み込んでセカンドに、更にトップに切替えます。

5. 減速するときは、前記の反対に a 点
b 点をそれぞれ踏み込んで行ないま
す。
6. ニュートラルの表示は、ヘッドライ
トの上部にあるニュートラルランプ
が灯きますから確認して下さい。
7. 自動遠心式クラッチになっており、
或る回転以下になりますとクラッチ
が切れた状態になり走行しにくくな
りますから、車のスピードに応じて
ギヤーを切替えるようにその要領を
会得して下さい。



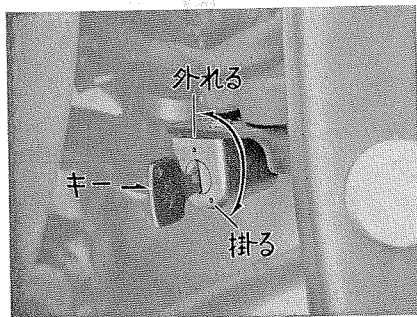
第 6 図

ギヤ	← (トップ) —……					
	← (セカンド) ———					
	← (ロー) —→					
スピード (km/h)	0	15	20	25	30	……

▶ 坂道での運転要領

1. 普通の坂道では、殆んどトップ走行の状態で登れます。
2. 特に急な坂や荷物を搭載して登る坂などの場合に、スピードが落ちてきたら、そのスピードに応じてギヤーをセカンド或いはローに切替えて登ります。
3. 坂道を下るとき自動遠心式クラッチでも、エンジンブレーキは完全にききますから御安心下さい。

▶ 停車および駐車にあたって



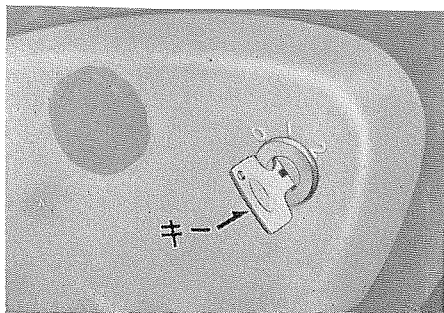
第 7 図

1. ブレーキは必ず前後のブレーキを同時に働かせる習慣をつけて下さい。
2. 停車したら、チェンジはニュートラルに戻しておきます。
3. 駐車するときは、忘れずに次のような処理を施して下さい。
 - ① ガソリンコックを閉める。
 - ② スイッチのキーは抜きとる。
 - ③ ハンドルの盗難予防錠をかける。(第7図)

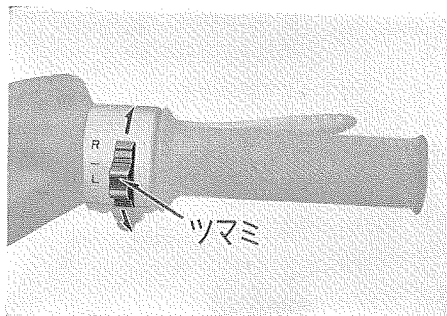
▶ 主要部の操作

◇メインスイッチ

0 駐車の時	エンジンはかけられない。電気装置はすべて使えない。
1 昼間走る時	エンジンはかけられる。ホーン、ウインカーが使える。
2 夜間走る時	エンジンはかけられる。ヘッドライト、テールランプが点灯、ホーンウインカーも使える。



第 8 図



第 9 図

◇ウインカーランプ

ツマミ を R に倒す...右に曲るとき
(右側ランプ点滅)

ツマミ を L に倒す...左に曲るとき
(左側ランプ点滅)

—注意— 電球は必ず 6~8V, 8W の純正部品を使って下さい。ワット数の違った電球を入れると動作が不確実になります。

◇ヘッドライト

ツマミ を a に倒す

……斜下照射

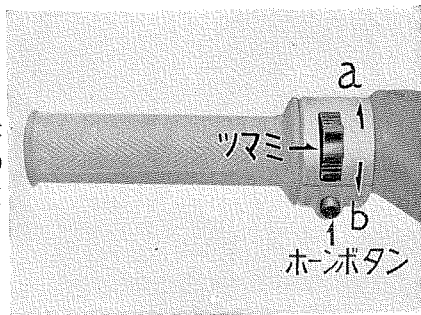
ツマミ を b に倒す

……正方向照射

ツマミの下はホーンボタンです。

(第10図)

第
10
図



照射角度の調整はアジャストスクリ
ューを動かして行ないます。

(第11図)

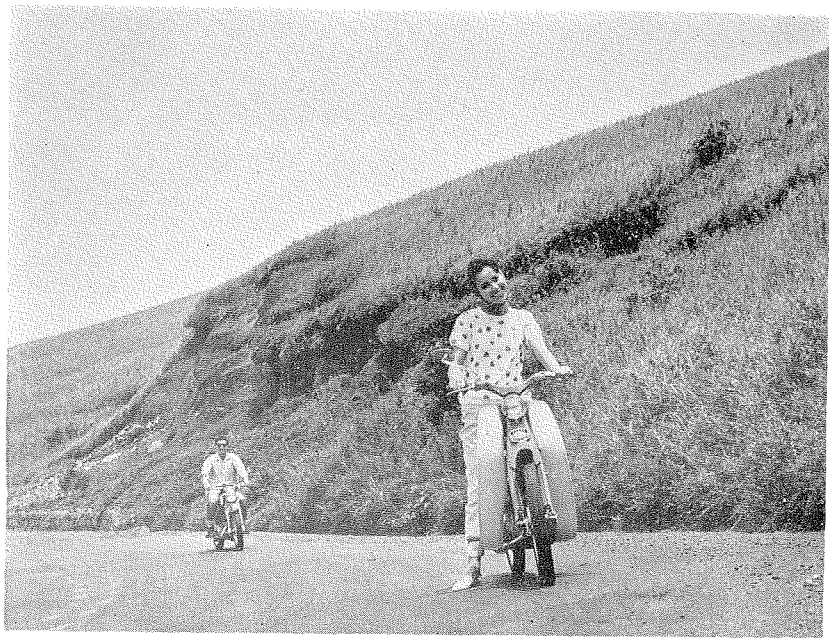
ねじ込むと→遠方を照す

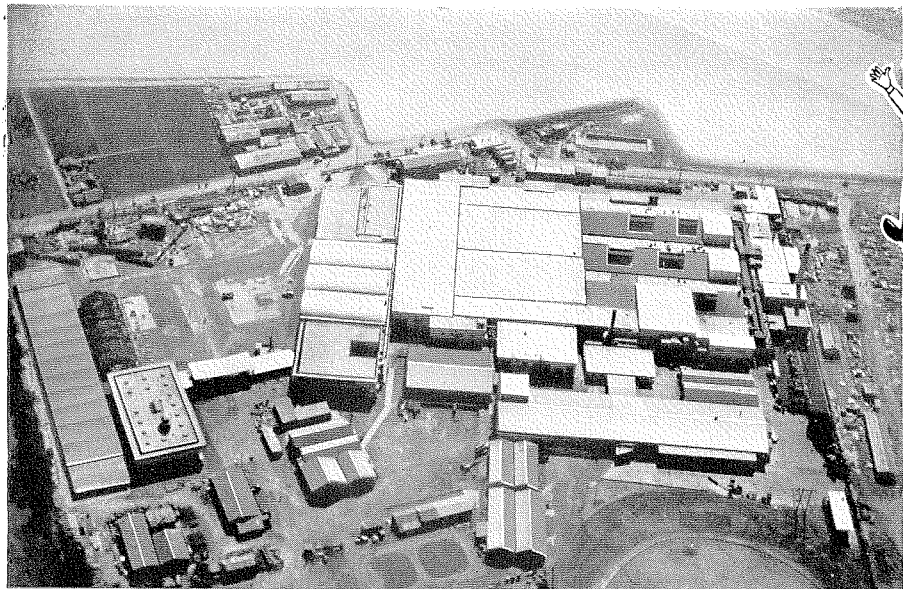
ゆるめると→近くを照す

光軸が50m前方の地上を照らすのが
適当です。

第
11
図







浜 松 製 作 所 と そ の 製 品

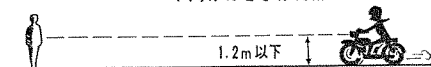
前照灯と制動距離

▶前照灯の障害物
確認距離……100m

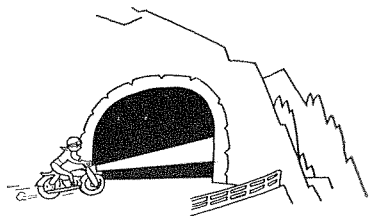
20km/h以下の自動車

……安全運行に適当な光度

……下向けのときは15m



白色または淡黄色



減光または照射方向を下向きに変えられる構造
のとき30m先の障害物確認

▶制動距離

第1種バイク
時速20kmのとき
制動距離5
m以下停止



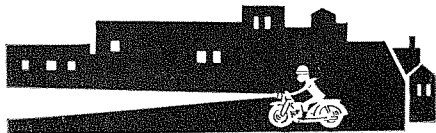
軽自動車第
2種バイク
時速35kmのとき制
動距離14m以内

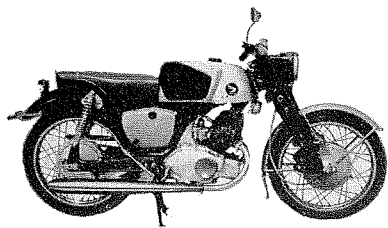


自動2輪車時速50kmのとき
制動距離22m以下停止

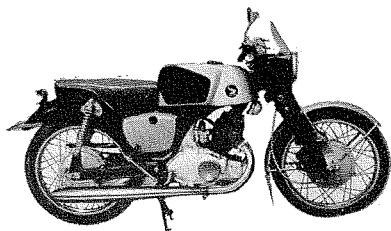


車両は日没時から日出時までの時間には定められて
いる灯火をつけて運転する。他の車両等と行違
うときは前照灯の光度をへらすか照射方向を下向
きにするか消して補助前照灯をつける。昼間でも
視界が50m以下の濃霧の場合やトンネルの中では
前照灯をつけなければならない

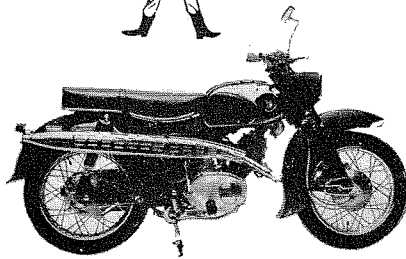
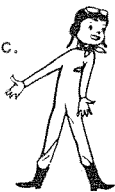




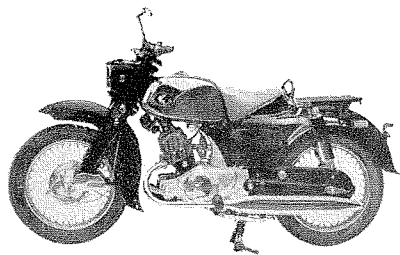
ベンリイスーパースポーツCB 92 125 c.c.



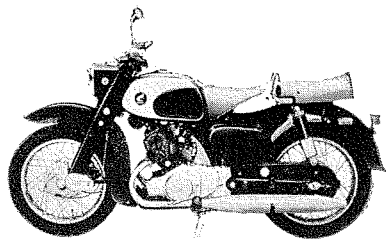
ホンダスーパースポーツCB 95 150 c.c.



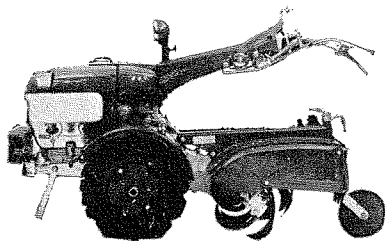
ベンリイスポーツCS 92 125 c.c.



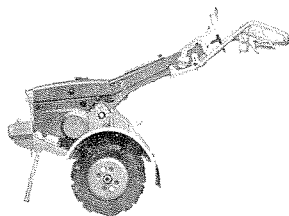
ベンライ C92 125 c.c.



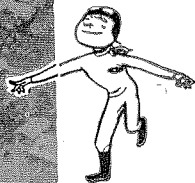
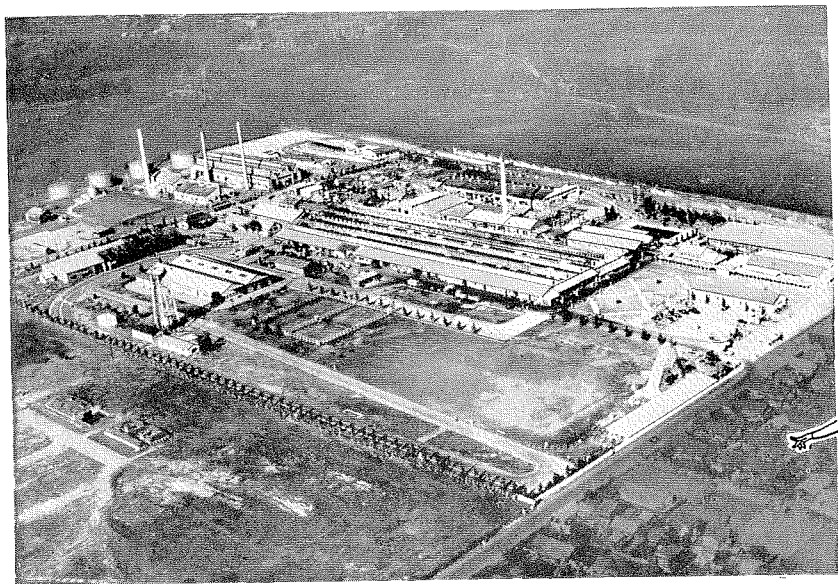
ホンダ C95 150 c.c.



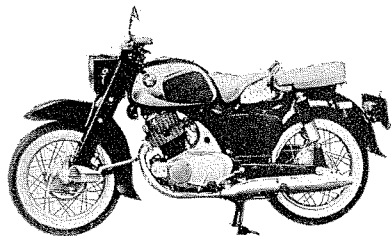
ホンダ F190 190 c. c.



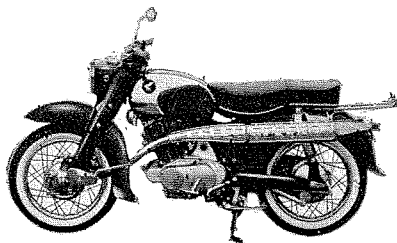
ホンダ F60 80 c. c.



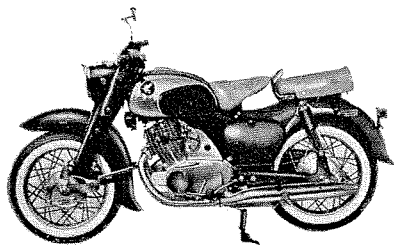
埼玉製作所とその製品



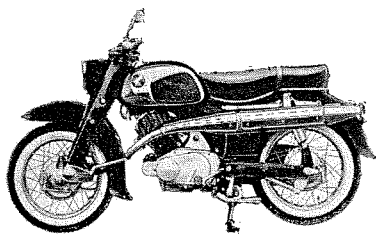
ドリームC77 300 c.c.



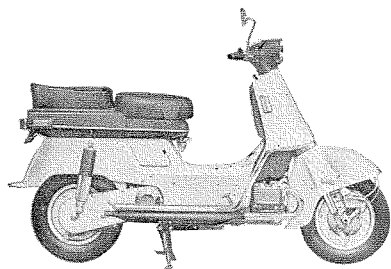
ドリームスポーツCS72 250 c.c.



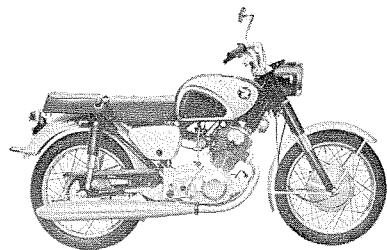
ドリームC72 250 c.c.



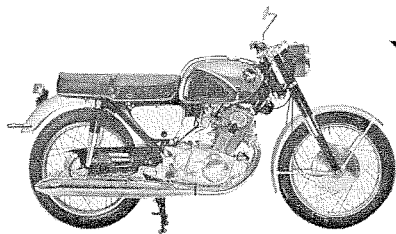
ドリームスポーツCS77 300 c.c.



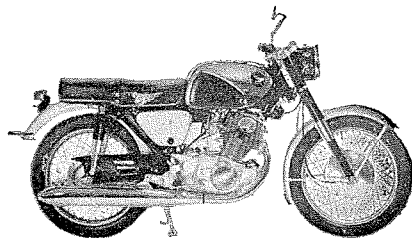
ジュノオ M80 125 c. c.



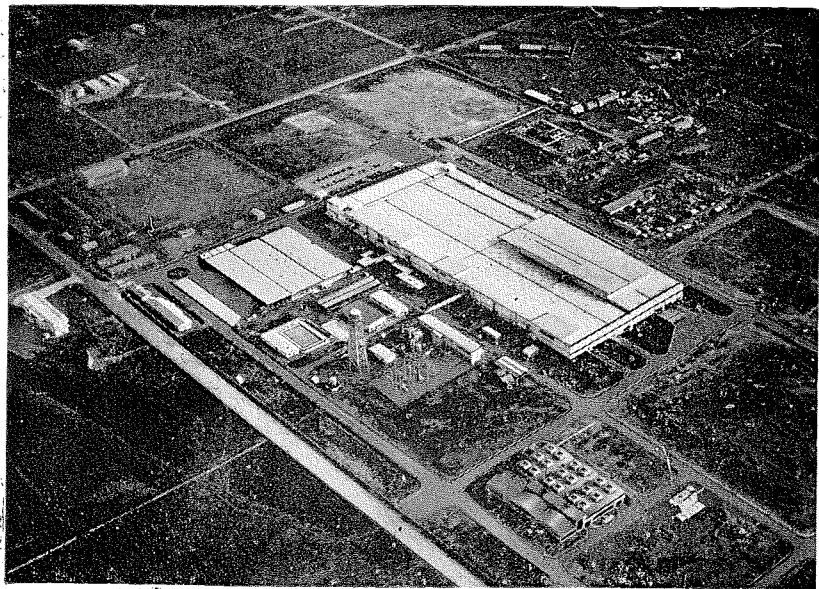
ドリームスーパースポーツ CM72 250 c. c.



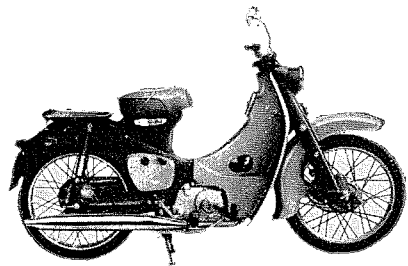
ドリームスーパースポーツ CB77 300 c. c.



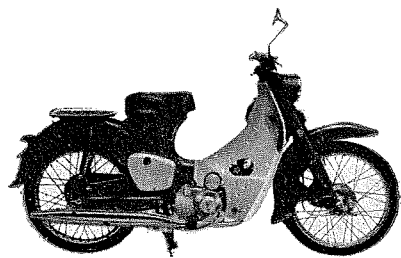
ドリームスーパースポーツ CB72 250 c. c.



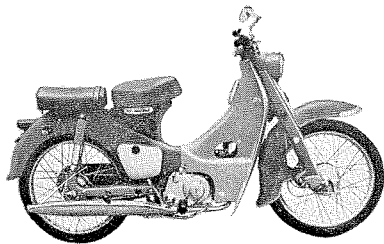
鈴鹿製作所とその製品



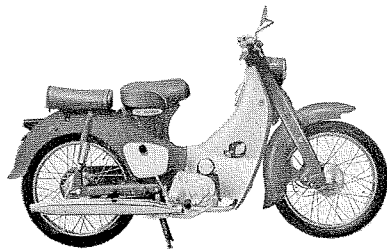
スーパーカブ C100 50 c. c.



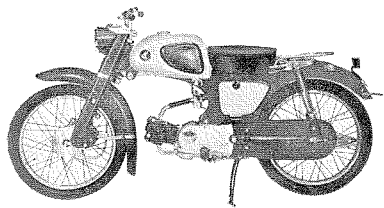
スーパーカブ C102 50c.c



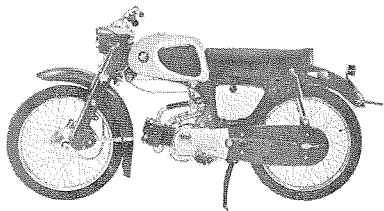
スーパーカブ C105 55 c. c.



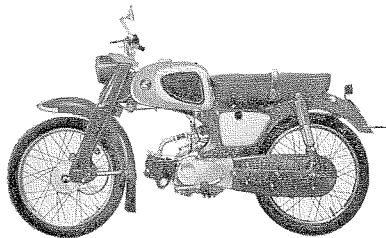
スーパーカブ CD105 55 c. c.



スポーツカブC111 50 c. c.



スポーツカブC110 50 c. c.



スポーツカブC115 55 c. c.



本田技研工業株式会社